

第5章 計画の推進

本計画の着実な推進を図るため、各主体の役割及び計画推進のための基本的な考え方を明確にした上で、進行管理の体制及び手順を示します。

また、計画の全体像及び計画に基づく施策や事業について体系的に整理し、進捗の管理を行います。

1 計画の推進体制

(1) 各主体の役割

① 県の役割

各主体が自主的・積極的に環境に配慮した行動を実行できるよう、取組の方向性を明らかにするとともに、制度や仕組みの整備、人材の育成、関連情報の提供、効果的な普及啓発等を推進します。

また、自らが事業者として、環境の保全と創造に関する取組を率先して実行します。

② 市町村の役割

地域の社会的及び環境的な特性を熟知している市町村は、地域に密着した環境づくりを進めるための重要な役割を担っていることから、市町村は、県に準じた施策やその他独自の施策を自主的・積極的に展開することが期待されます。

③ 事業者の役割

今日では通常の事業活動に起因する環境への負荷が増大しており、資源の採取、生産、流通、加工、販売など、様々な事業活動に際して、公害防止はもとより、環境への負荷の低減を自主的に進めるなどの環境への配慮が必要です。

このため、CSRの重要性や地域の構成員としての役割を認識し、その能力を活かした積極的な環境保全活動が期待されます。

一方、環境保全に関する事業活動の展開は、本県の豊かな環境の保全と創造を図るとと

もに、地域資源を活かした産業振興に寄与するという点で重要であり、積極的な取組が期待されます。

④ 県民の役割

今日、県民の日常生活に起因する環境への負荷が増大しており、このことはゴミ問題や地球温暖化問題と深く関わりがあります。

このため、県民には、人と環境との関わりについての理解を深め、日常生活に起因する環境への負荷の低減や、身近な環境をより良いものにしていくための行動に、一人ひとりができる範囲で、実行していくことが期待されます。

⑤ NPOの役割

環境保全に関するNPOの持つ豊かな知識・経験が活かされ、さらには次世代を担う子どもへ広がるなど、あらゆる人々への取組の展開が地域で期待されており、その活動は大変重要となっています。

また、NPOには、公益的な視点からの県民への啓発活動や、地域の環境活動への自主的な参加や、専門的知識を活かし、事業者、県、市町村など各主体との協働による取組が期待されます。

そして、その能力を活かし、行政その他の各主体への提言を行うことも期待されます。

(2) 推進体制の整備、各主体との連携・協力

本計画を推進するため、庁内においては横断的な検討組織の活用による情報の共有を図るとともに、課題解決のための体制づくりに取り組みます。

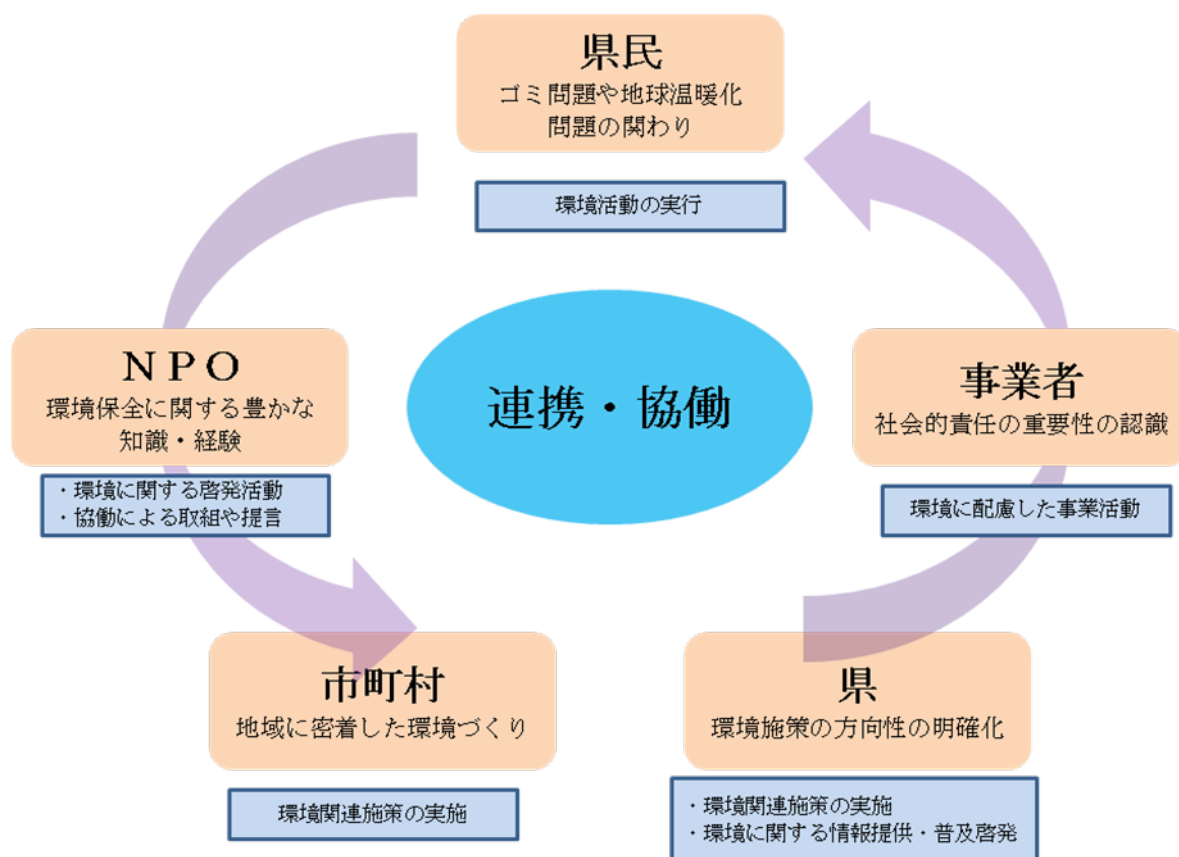
また、県民やNPO、事業者等が取組に主体的に参加・参画し、連携・協働した取組を推進します。(図-12)

(3) 財政上の措置

県は、この計画に掲げた各種の施策を着実に実施するため、本計画の推進状況等を勘案しつつ、重点的に必要な財源の確保に努めます。

なお、財源については、予算化や税制、国等の補助事業の他、省エネルギーの提案、施設の提供など包括的なサービスを提供するE S C O事業など民間事業の活用、また、企業の社会貢献活動による環境保全事業などにより実施に努めます。

(図 - 1 2) 環境基本計画の推進体制



2 計画の進行管理

(1) 進捗状況の点検

計画の各分野の施策や取組には、主要なものについては定量的な指標を与え、毎年その達成度を点検するほか、その他の事業についても、取組結果を定性的にとりまとめ、計画の進捗状況を点検します。

進行の点検は、PDCAサイクルの考え方に基づき、計画の策定 (Plan)、県の事業や取組等の実施及び運用 (Do)、取組の実施状況等の点検及び評価 (Check)、事業内容等の見直し (Action) という一連の手続きに沿って実施します。

(2) 計画の内容の見直し

計画の進行状況の点検及び評価結果を踏まえ、必要に応じて個別の施策等の見直しや新規事業の検討を行います。

(3) 評価及び公表

計画の点検及び評価結果は、高知県環境審議会に報告し、意見及び助言を受けながらとりまとめ、毎年度、高知県環境白書により県民に公表します。

(4) 計画の普及啓発

計画の推進を図るためには、社会を構成する全ての主体の参加と協働を得ることが必要であることから、本計画を分かりやすい内容にすることや、いつでも入手できるよう、普及・啓発資材の作成・配布、県ホームページ等の多様な広報媒体の活用により、より一層の周知を図ります。